

活動状況報告書

1. 事業名称 家庭用廃食油の回収による地域活性化

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸エコマネー「アウル」の会

■ 事業担当課： 環境計画課、商工観光課、

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

① 廃食用油回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得

② PR資料等の作成、掲示、配布

③ スクールガード、、駅前清掃等へのアウル券の配布

④ 小金原健考館での廃食用油回収事業の継続

⑤ 新規スクールガード、美化、環境関連協力ボランティアへの参加働きかけ

■ 担当課の役割

※ 担当課が実施したことを記載してください。

① 環境計画課 「広報まつど」への活動紹介記事の掲載

② 商工観光課 商店街等への事業PRのバックアップ

4. 事業の内容

※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得と巡回、回収用具類の配布。

日付	作業内容
4/17、4/30、5/7、5/28、 12/15、12/17、3/16	五香地区（西口商店街、東口商店街）訪問 はたや商店、松久、佐藤ベーカリー
4/3、5/27、9/8、10/21、1/10	小金原地区訪問
6/4、6/22、7/19、8/6、9/9、 10/7、12/9	北松戸地区（3店舗）訪問
5/16、6/21、6/24、8/2	稔台商店会訪問
8/2、11/17	本町地区他訪問（峰月、松浦住宅、ミヤマ建設）
8/17、11/27、3/16	松戸新田地区（万世食品、元気もりもり、花創作高原、 すえひろ、末広屋）訪問
5/31、6/4、7/7、7/19、8/6、 8/17、9/9、10/7、11/15、 11/27、12/6、12/9、1/16、	協賛店（薬膳カレー秋月、ポナペチート）訪問、
6/13、8/2、9/13	回収拠点用ノボリ、回収缶セット、用具類の配布
2/26	久我インテリアにて常盤平西窪町町会として廃食用油回収 の取り組みの動きがあり、仕組みについて説明をした。

3/23	松戸市協働推進課、環境計画課と久我インテリア（西窪町町会役員）及び戸田建設 BDF プラント訪問

回収拠点、アウル券利用協賛店および町会等の PR 資料の作成

日付	作業内容
4/10、4/16、5/25、6/3	10 アウル券のデザイン作成、印刷業者への発注、検収、ナンバーリング作業
4/10、4/11、7/2、7/6、8/4、8/23	PR ポスター企画・作成（五香、小金原、八ヶ崎地区、一般） 三つ折りパンフの企画・作成
7/25、9/24、9/27	回収拠点、協賛店表示ステッカー（ラミネート）の企画・作成
8/22、10/15	回収拠点、協賛店ノボリデザイン作成・発注
7/13、7/20、7/27、7/29	八ヶ崎、小金原八丁目掲示ポスターの印刷
10/6、10/7	五香地区掲示ポスターの印刷

広報活動

日付	作業内容
5/7、5/11、5/12、5/16 5/18、5/20	廃食用油回収 PR 用 会報 19 号の企画・編集
10/12、10/13、10/31、11/9、 11/12、11/16、11/28、12/6、 1/23、1/27	廃食用油回収 PR 用 会報 20 号の企画・編集 増刷
9/23	広報まつど 10 月 15 日号掲載打合わせ、原稿作成
7/22	地域新聞 9 月 2 日号掲載の取材対応
9/23、10/30	第 7 回馬橋地区「ふれあい広場」に出展及び打合わせ会議
9/28、10/1、10/2	第 38 回消費生活展に出展及び打合わせ会議
2/11、2/18、2/25、3/10	第 9 回 NPO 見本市、キャラバン見本市に出展

町会、各戸への PR とスクールガードへの接触

日付	作業内容
7/14、7/15、7/21、7/25、 7/31	廃食用油回収の PR ポスター掲示依頼（小金原、八ヶ崎地区）
7/3、7/21、7/31	八ヶ崎地区スクールガードへのアウル券配布依頼。
10/9	五香地区町会長にポスター掲示依頼
1/29、1/30	PR 用資料各戸配布（五香 3、7、8 丁目、六高台 8、9 丁目）

小金原健考館での廃食用油回収

日付	作業内容
4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、 6/24、7/7、7/228/12、8/26、 9/9、9/23、10/14、10/28、 11/11 11/2512/912/23、1/13、1/27 2/10、2/24、3/9、3/23	廃食用油の回収とアウル券の配布、活動のPR (第2、第4金曜日 13.00~16.00 まで分担して回収)

三者会議

日付	作業内容
8/17	中間振り返り
2/28	終了前打ち合わせ

定例役員会

日付	作業内容
4/3、4/24、5/22、6/26、7/24、 8/21、9/23、10/30、11/27 12/25、1/27、2/26、3/25	毎月第3日曜日を定例に開催。23年度協働事業の進め方について、その都度討議して、結論を実行する。

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

① 目標 回収拠点の新規設立 6店舗

廃食用油回収 23年度 2000L

実績 回収拠点 11店舗 アウル券利用協賛店 38店舗

廃食用油回収実績(24年3月末現在)605L

内訳 小金原健考館 371.5L、松久 64L、松川産業 28L、ミヤマ建設 34L
八矢庵 32L はたや商店 23L スエヒロ 12L、花創作高原 7L
山崎家具センター9L、丸協 14L、峰月 10.5L

アウル券の配布枚数は500ccで10アウル券1枚としている。

10アウル券配布実績(24年3月末現在)685枚

内訳 小金原健考館 534枚、はたや商店 38枚、松久 39枚

スエヒロ 8枚、花創作高原 13枚、丸協 28枚、峰月 7枚

山崎家具センター18枚

②目標 スクールガード等協力ボランティアの新規獲得(スクールガード 6地区)

実績 スクールガード協力ボランティアは五香新町町会が10月より取組み開始
1ヶ月に10日活動(1日4名) 40枚/月 6ヶ月×40枚=240枚

22年度より実施の八ヶ崎地区スクールガードへの23年度配布枚数1130枚
「メイク松戸ビューティフル」の駅前清掃 23年度配布枚数360枚

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

①回収拠点、アウル券利用協賛店について

回収拠点として11店舗が確保できたが、周辺市民へPRがまだ不十分で回収拠点が、十分に市民に周知できていない。しかし11店舗すべてで廃食用油の回収実績が出来てきた。今後の拡大に期待したい。

協賛店は38店舗あるが、そこでのアウル券の利用は4店舗に留まっている。

その他のアウル協賛店では使用実績がまだなかった。

協賛店でのアウル券利用実績(24年3月末現在)66枚

内訳:肉のたむら15枚、八島うどん7枚、東龍30枚 松久14枚

②スクールガード、新規協力ボランティア団体の獲得

今年度は新規のスクールガードは五香新町町会の1町会のみであった。

新規協力ボランティア団体の獲得は出来なかった。

常盤平西窪町で町会として廃食用油回収に取り組む意向があり仕組みの説明を行った。

まちづくり、環境美化等のボランティア団体への接触が出来なかった。

③回収拠点、アウル利用協賛店、協力町会との報告会

個人商店であり、うまく時間のアレンジができず、一同に会することができなかった。

個別に巡回して、意見や要望を把握して運営に反映する必要がある。

そのためにも報告会に代わるコミュニケーションのツールを検討したい。

今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

①廃食用油の回収量については目標を達成できなかったが、新規回収拠点すべてで、回収の実績が出てきており、その地域市民へのPRを繰り返し行うことにより時間の経過とともに回収量は必ず増加すると推察する。(小金原健考館の実績から見て)回収拠点周辺の町会へのPR活動をさらに徹底強化する。

②回収拠点の網の目が粗い。とくに北小金、馬橋地区に回収拠点を新規に獲得したい。

③アウル券の利用の促進を図る。協賛店の密度を高め、使いやすい環境を整備する。

そのためにも商店街ぐるみでこの事業に賛同してくれる商店街を商工観光課と協働で獲得していきたい。

④新規に協力ボランティアを獲得する。

スクールガード、環境関連ボランティアに活動の内容をPRして参加を要請する。

⑤広報活動の強化

広報まつどへの繰り返し掲載。 地域新聞、地域テレビでの報道依頼